

日坂小学校・東山口小学校統合準備委員会（第8回総務部会） 協議録

日時	令和8年4月10日(金) 19:00～20:50
場所	日坂地域生涯学習センター
出席者	委員 19名、日坂小学校教頭 事務局 教育政策課長、学校再編室長、主任、主事補
内容	
1	開 会
2	あいさつ（教育政策課長） <ul style="list-style-type: none"> ■ 令和8年度が始まり、地区やPTAの役員の交代があったため、新任の委員の皆さんには、今月6日に事前説明を行い、これまでの検討経過を説明させていただいた。 ■ 学校でも、子どもたちが新たな環境に円滑に移行できるよう、交流事業等の取り組みを行っている。引き続き、地域の皆様のご支援やご協力を賜りたいと考えている。
3	協議事項 <p>(1) 統合に向けて総務部会で検討する事項</p> <p>＜事務局説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 前回の総務部会では、統合に向けて取り組みたい事項として、次第に記載されたものが挙げられている。これらについて検討するとともに、他にも取り組みたい事項があれば挙げていただきたいと考えている。 ■ 本日の協議では、実施の可否について結論を出さない予定だが、実施方法や諸課題等を検討いただき、実現性を考えていただければと思う。 <p>＜委員意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 前回の総務部会で説明された保護者アンケートの結果については、新任委員の皆さんに配布しているのか。保護者の意見を協議に反映させるために実施したので、新任委員の皆さんにも見ていただきたいと思う。 ■ 保護者アンケートでは、具体的な取り組みも提案されているが、総務部会でどのように取り上げていくのか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 前回の総務部会では、保護者アンケートの結果を説明した上で、委員の皆さんから意見を出していただいた。そのため、あえてアンケートの意見をピックアップする必要はないと考えている。 ⇒ 保護者アンケートの回答に、取り組みたいものがあれば、検討事項として挙げていただいて構わない。 ■ 子どもたちに、どのような企画を実施したいか、意見を聴きたい。実施内容によっては、学校以外の場で開催しなければならない場合もあると思う。その場合は、実現性が低くなるのか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 既に、学校の年間計画が決まっているため、学校の教育活動の中で実施することは難しいと考えている。 ⇒ 学校以外の場で実施する場合、実施主体や会場、送迎方法等を検討する必要がある。例えば、地区で実施できそうな企画を検討し、子どもたちに選んでもらうような形であれば、実現性が高いと思う。逆に、そのような議論がないまま、子どもたちの意見を聴こうとしても、本当に対応できるのかが課題になると思う。

- 地域や保護者が企画を考え、子どもたちが選ぶ方法にすると、大人の意見に影響された取り組みになってしまう気がする。実施できることに制限があることを説明した上で、子どもたちの意見を聴きたい。
- 取り組み方のイメージが湧かない。子どもたちに意見を聴けば、やりたいことを自由に出してくると思う。それを、片っ端から駄目だとしてしまうのは、教育的な配慮がないように感じる。また、その検討に地域が参加するというのも、よくわからない。

<事務局>

- 子どもたちが仲良くなれるよう、学校以外の場でも交流の機会を設けられないかという提案だと捉えていた。趣旨が違っていたら教えていただきたい。

<委員意見>

- 地区が離れていることから、小学生同士だと遊ぶことが難しいと感じたので、統合前にみんなで集まれる機会をつくりたいと考えた。

<教育政策課長>

- 例えば、そのような交流の場を、子ども会で検討できないか。

<委員意見>

- 東山地区と日坂地区は、子ども会が無い。
- 東山口地区も、以前は子ども会があったが、子どもの人数が減少し、活動できない状況である。ただ、スポーツ大会やクリスマス会などは行っている。

<事務局>

- 学校以外の場で実施する場合は、誰が企画し、実行するのかも検討する必要がある。

<委員意見>

- 東山・日坂地区では、閉校記念事業について話し合っているが、東山口地区も含めた、より広い地域単位で検討するイメージが湧かない。既存の地区行事に、他の地区の子を招待する程度であれば可能だが、新しい行事を実施するのは難しいと思う。
- 学校の行事内容を変更することはできないのか。
 - ⇒ 既に年間計画は決まっており、変更させることが難しい。
- 学校行事で実施できないなら、おそらく全員参加が難しいと思う。そのため、堅苦しい行事にするのではなく、月1回程度、学校のグラウンドで遊んだり、栗ヶ岳に登ったりする小規模なイベントを実施できればよい。
 - ⇒ ただ、子どもたちを見守る体制を整える必要がある。
- 見守りの人数などに規定はあるのか。
 - ⇒ 特にない。
 - ⇒ 学校のグラウンドのように、見通しの良い環境であれば、見守り体制が少人数でも預かることができる。ただ、登山の場合は、子どもたちの歩くペースが異なる中で、それに合わせて大人が付き添える体制を整える必要がある。環境に応じたサポート体制を整えられなければ、子どもたちを預かるイベントの実施は難しい。
- 新しい行事を実施することは難しいので、既存の地区行事を活用するのがよいと思う。東山口地区では、納涼祭や文化祭、子ども食堂などを行っている。東山・日坂地区でも、様々な行事があると思うので、お互いの地区の行事に参加できればよいと思う。

<事務局>

- 各地区で、他地区のお子さんが参加可能な行事を検討していただき、次回の総務部会で報告していただきたい。
- 交流事業以外にも実施したい取り組みがあれば、意見を出していただきたい。

<委員意見>

- 東山・日坂地区の方に、東山口小学校の参観会に参加していただくのはいかがか。

<東山口小学校長>

- 日坂小学校と東山口小学校では、昨年度から合同参観会を開催している。日程を分けて開催しており、保護者の皆さんが参加しやすいように計画している。
- 昨年度は、学校関係者として、学校運営協議会の委員の皆さんにも参加いただいた。

<事務局>

- 防犯上の観点から、子どもたちがいる状況で不特定多数の方が学校内に立ち入ることは難しい。子どもたちがいない状況ならば、地域の皆さんに学校施設を見学していただくことが可能だと考えている。東山・日坂地区の皆さんは、東山口小学校を見学したいという意向が強いと思うので、地区で検討いただき、要望があれば、学校に依頼したいと考えている。

<委員意見>

- 児童のケアとは、具体的に何をするのか。
 - ⇒ 子どもたちの中には、統合を楽しみにしている子もいれば、不安に感じている子もいるため、アンケートを実施したり、保護者の皆さんに家庭でのお子さんの様子を伺ったりすることで、子どもたちの不安要素を取り除きたいと考えている。
- 新しい学校の愛称を検討したい。

(2)校歌・校章

<事務局説明>

資料1：校歌変更検討フローチャート

資料2：小学校統合に係る費用（概算）

- 校歌を変更する場合、著作権法上、既存の校歌を編曲することができないため、新しい校歌を作成する必要がある。
- 校歌を作成する場合は、地域内で歌詞や曲を公募する方法と、専門家に依頼する方法が考えられる。専門家に依頼するのであれば、謝礼を支払う必要がある。ただ、今年度の当初予算には計上されていないため、年度途中に補正予算を取るか、来年度の当初予算で要求することになる。依頼費は、他自治体の事例を見ると、依頼者の知名度等により10万円台から100万円台の間で変わってくるものだと考えている。
- 校章を変更する場合、デザインの制作に加え、体育館の緞帳や校旗等を新調する必要があるため、さらに追加費用がかかる。

<委員意見>

- 3地区が一体となって新しい学校をスタートさせることを考えると、それぞれの地区の良さを生かしながら、新しい校歌をつくりたいと思う。
- 日坂小学校と東山口小学校が一緒の学校になるので、校歌と校章の両方を変えたい。

- 東山口地区は、東山・日坂地区の子どもたちが東山口小学校に通うことを歓迎している。1日でも早く学校生活に馴染めるように、教育環境を整える必要がある。来年度は、東山口地区の新入生に加え、日坂小学校の子どもたちも入ってくる。子どもたちの不安を取り除き、充実した学校生活を送れるように、金銭的・人的資源を使っただきたい。
- 1年間話し合いを続けてきたが、東山・日坂地区と東山口地区の間で、議論が平行線を辿っている。そのため、賛成と反対の両意見を提示した上で、全戸にアンケートを実施すればよいのではないか。これ以上話し合いを続けても、結論が出ないように感じる。東山口地区としては、統合に関する申し入れ事項がある以上、総務部会での議論だけで校歌を変えると判断しても、地域が納得できないと思う。
- 時間と手間をかけて議論してもよいと思う。校名の議論もそうだったが、予算や労力の課題ばかりを気にしてしまうと、本質的な話し合いができない。3地区の良さ生かして、新しい学校をつくるという視点に立って議論をしたい。
- 保護者アンケートの結果を見ると、東山口地区の保護者の中にも、校名などを変えてもよいという意見がある。東山口地区の総意があるから、校歌を変えなくてもよいという議論は違うと思う。
- だから、地域でアンケートを取って決めればよいのではないか。
- それは、人数に差があるから不公平だ。
- 学校現場の負担や市の財政状況もあると思うが、何のために校歌を変えたいのかという部分を考える必要があると思う。保護者アンケートの回答では、子どもたちや保護者の意見を尊重してほしいという意見が寄せられている。子どもたちのために新しい校歌をつくることを考えると、東山口地区の総意があるから検討しないのは、違うと思う。
- 既存の校歌は、昭和26年に作成された、戦前の教育観に影響された歌詞であるため、今の子どもたちが理解しやすい、時代に合った校歌に変えるべきだと思う。
- 個人的には、もし予算の都合で新しい校歌がつかれないのであれば、サブ校歌のような統合の象徴になるようなものをつくりたいと思っている。東山口地区の皆さんは、そのような場合でも、何か新しい歌をつくることに反対するのか。
- 子ども視点で考えても、そこまで校歌を変える必要性を感じない。本当に子どもたちのことを考えるのなら、サブ校歌のような大きな企画ではなく、子どもたち同士が仲良くなれるきっかけとして、クラス単位で歌をつくる程度の取り組みでよいのではないか。
- 私は、統合に向けて曲をつくり、行事などで一緒に歌うことができればと思い、サブ校歌の提案をした。そのような歌をつくることには賛成ということか。
- そこまで大きな企画でなくても、統合後に子どもたち同士で和気あいあいと歌をつくる行事があってもよいのではと思う。
- 私たちは、統合前に、統合の象徴になるような歌をつくりたいと考えている。あなたの意見は、統合後に歌をつくるということによろしいか。
- 歌をつくることが目的ではなく、子どもたち同士が仲良くなれることが目的だと思う。そのきっかけとして、統合後に、クラスみんなで歌をつくれればよいと思う。統合前に歌をつくると、子どもたちが主体ではなく、大人がつくった歌になってしまう気がする。
- つまり、校歌を変えないという意見でよろしいか。私たちは、統合するなら校歌を変えたいと考えている。私たちの想いとは違うように感じる。

- ご自身が卒業された小学校の校歌について、ワンフレーズだけでも覚えていないものなのか。私の子は、小学6年生のときに統合を迎える。おそらく、高学年の子は、東山口小学校の校歌を十分に覚えられず、思い入れも持てないまま卒業を迎えることになる。子どもたちが卒業式を迎えるとき、どんな気持ちになるのかなど考えてしまう。校歌を変えてもらえなければ、日坂小学校側の気持ちが難しいように感じる。
- 校名等を変更し、子どもたちが新しいスタートを切れる体制を整えたいという想いは、東山・日坂地区の総意だ。私たちは、当初から地域や保護者の意見を聴きたいと伝えており、ようやく保護者アンケートを実施できた。回答には、東山口地区の保護者からも、子どもたちや保護者に寄り添って欲しいという意見が寄せられた。校名などを変えてもよいという意見もある。それにもかかわらず、東山口地区の総意として校歌を変えないと言われてしまうと、東山・日坂地区としては、心が折れるほど悲しい。
- 地区の申し入れ事項をもとに議論するのではなく、委員一人ひとりの意見を聴きたい。日坂地区は、校歌に特別な思い入れがある。私たちの心の中には、日坂小学校の校歌が残っている。とても大切な議論だと思うので、校歌に対する想いを出していただきたい。
- 現実的に、校歌を変えることが可能なのか。現時点の教育委員会の方針を確認したい。

<事務局>

- 現時点で、校歌の変更について、教育委員会としての方針はない。
- ただし、もし予算のかかる方法で作詞・作曲を行う場合、その予算を確実に用意できる保証はない。そのため、予算が確保できるまで待つていただくか、予算が極力かからない方法で、地域の意見を汲み取りながら進めていただくことになるかもしれない。
- また、学校の負担を極力減らす方法で進めていただきたい。子どもたちの音楽指導は、学校で行っていただく必要があるが、校歌の作成自体は、地域の皆さんで実施できると考えているので、進め方についても検討していただきたい。

<委員意見>

- 教育委員会としては、どのような状況であれば、校歌の変更を認めるのか。

<事務局>

- 東山地区、日坂地区、東山口地区の3地区で、校歌を変更してもよいと合意することが条件だと考えている。合意方法についても、総務部会で検討していただきたい。
- また、いつまでも議論を続けることもできないので、期限を決めた上で、結論が出ない場合にどうするのかについても検討していただきたい。

<委員意見>

- 校章は変えない方が望ましいが、校歌は、新しいものに変えたい。ただ、新しい校歌をつくると、日坂小学校だけでなく、東山口小学校の子どもたちからも、今までの校歌が無くなってしまうことになる。そのため、統合して数年は両校の校歌を歌い、その後、新しい校歌に変えてもよいのではないか。
- 東山口小学校の子どもたちも、校歌や校章が変わることで、統合に対するわくわく感を抱くと思う。統合に間に合うスケジュールで進めることができれば、日坂小学校だけでなく、東山口小学校の子どもたちも、新しい学校が始まるという気持ちになれると思う。もし、間に合わないのであれば、統合記念校歌みたいなものをつくっても良いと思う。統合して数年は、それを歌い継ぐことで、日坂小学校と東山口小学校が統合してできた学校であることを、子どもたちに伝えていくことができると思う。

- 校歌を変えてほしいという東山・日坂地区の想いは、私も理解できる。東山口地区にも、そこまで校歌にこだわっていない人もいると思う。ただ、地区代表である以上、東山口地区としては、校歌を変えなくてもよいと考えていることを、この場でお伝えする。
- スケジュールを考えると、開校に間に合わせる事が難しいと思う。予算についても、市の財政状況を踏まえると、本当に計上されるのか疑問だ。
- 東山・日坂地区としては、子どもたちが誰一人泣かない、わくわくする統合にしたいと考えている。ただ、時間がないという理由で急いで準備するのは、無理があると思う。もしかしたら、統合後につくった方が、子どもたちがわくわく感を持てるかもしれない。時間がかかるかもしれないが、私たちの想いも大切にしながら議論していきたい。
- 子どもたちや保護者など、当事者の想いを大切にしたい。東山口小学校の保護者の皆さんにも、意見を前面に出していただきたい。
- 個人的には、校歌を変えるのではなく、統合後の活動の中で、子どもたちが行事などで一緒に歌える曲を考えるくらいの取り組みで十分だと思う。
- 事前説明の際、東山・日坂地区の要望書と東山口地区の申し合わせ事項について説明があった。東山口地区の総意として、校歌や校章を変えないという話も聴いている。
- 両地区の間で、今回の統合が「編入」なのか「新しい学校のスタート」なのか認識が揃わないまま協議が始まったように感じる。説明では、手続き上は「編入」だが、地域としては「統合」を望んでいるといった言い方をされたように思う。

<事務局>

- 今回の統合は、行政手続き的には「編入統合」である。ただ、両校の良さを生かして、新しい学校をつくるという方針のもと、統合準備を進めている。

<委員意見>

- 私は、東山口地区の委員なので、校歌や校章を変えないという立場である。ただ、もし協議の結果、校歌や校章を変更すると決まるのであれば、個人的には、新しくなってもよいのかなと思う。変える場合は、スケジュールを考えると開校に間に合わせる事が難しいと思う。調べてみると、統合後に校歌を検討している学校もあるので、来年度の入学式は両校の校歌を歌い、統合後につくるといった取り組み方も検討できると思う。
- 今年度から委員になり、どのような議論を重ねてきたのかよくわからない状況なので、保護者アンケートの結果などを確認させていただければと思う。

<事務局>

- 統合に向けた取り組みについて、校歌や校章も含めて各地区でご検討いただき、次回の総務部会で報告していただきたい。

<委員意見>

- もし、栄川学園の小中一貫校の整備に見通しがあるのなら、それを見据えて校歌を検討するのも良いと思う。
 - ⇒ 学校再編事業については、原野谷学園と城東学園で事業を進めている状況である。次は、掛東学園に着手する予定だが、目処が立っていない。栄川学園は、その後に着手することになるため、現段階で具体的なことは申し上げられない。

- やはり、地区の方針に縛られて発言するのではなく、個人の意見を出していただきたい。東山・日坂地区では、統合について、2年間にわたり保護者を中心に議論を重ねた上で、要望書を提出した。ただ、総務部会では、要望書の内容を地域の総意として強調するのではなく、個人の意見を自由に発言している。東山口地区が、申し合わせ事項の内容を地区の総意として強調するのであれば、東山・日坂地区も、要望書を地区の総意として議論するしかない。各々の立場があると思うが、自由に発言できる場でありたい。

(3) 事務連絡

- 次回開催予定：5月27日（水）19:00～ 東山口地域生涯学習センター

4 閉 会